

地域につながる、「生きる」に寄り添う「広場」のような、場所でありたい。

ポランの広場

Vol.
47

独立行政法人
国立病院機構 花巻病院 [広報誌]

2019年7月1日発行

TAKE FREE



人々の
無病息災を願う
神々の舞

❖ 病院理念

当院で一番大切な人は患者さんです。
寄り添い、想像しながら、ともに前に。

❖ 運営方針

1. 公的病院としての役割を担い、精神医療並びに重症心身障害児(者)医療の向上に努めます。
2. 地域に開かれた病院を目指します。
3. 臨床研究と教育・研修・情報発信に努めます。
4. 個々の職員がその専門性を発揮し、質の高いチーム医療を目指します。
5. ムリ・ムダ・ムラのない病院経営を目指します。

今回の表紙



権現の舞

権現の舞は、神の降臨を請い扇とすずを持って舞う「した舞」に始まり、続いて、神が降り獅子頭と一体となり、歯を打ち鳴らしながら舞い、人々にふりかかる災い祓い、五穀豊稔、無病息災など、人々のあらゆる願いを受け入れ、安泰を祈ります。この写真は、8月1日、大迫早池峰神社の例大祭において、竹やぶの中で奉納された大償神楽の権現の舞です。祭りの原型は、こういう自然の中での舞なのでしょう。この写真の大償神楽の権現の舞は、しなやかで自然で、特に素晴らしい屈指の出来で、長く続く深い感動を与えてくれました。

写真：八木深



第15回日本司法精神医学会大会について

✎ 八木 深：花巻病院長

平 成から令和に改元された2019年6月7日8日に第15回日本司法精神医学会大会を当院主催で花巻温泉で開催しました。花巻は、宮澤賢治ゆかりの地で、大会テーマを賢治と異質としました。

特別講演は、山折哲雄先生にデクノポーになりたいという演題でお話し頂きました。山折先生は、国際日本文化研究センター所長をされ、米寿を迎えられた宗教学者です。先生のお母様の実家は、花巻市にあるお寺で、先生は1943年に花巻に疎開され、旧制中学に入学し、花巻には縁が深く、名誉花巻市民第一号になりました。山折先生は、1時間にわたり、よどみなく朗々とお話になりました。近代以前に神につながっていた領域が失われ、近代でジレンマが発生し、そこに宮澤賢治がどう生きたか、春と修羅、注文の多い料理店、風の又三郎と、宮澤賢治には風が吹いている。賢治は、風が吹く時、妹トシ子が浮かび、見えない者と交感したと、先生のお話自体に風が吹くようで味わい深い講演でした。

会長講演《賢治と異質》では、八木が、風の又三郎が外国人のようにまなざされながらも、ひらりと上に飛び上がったこと、賢治自身がまなざしに敏感であったことを述べ、次に、まなざしに

大会テーマ 賢治と異質



つぶれた者Aを紹介した。賢治は、まなざしをてこに、創作へとはばいたが、Aは、まなざされ、受け入れがたい行動に出てしまった。両者の違いは、受容の経験の差であり、宮澤賢治の異質を受容し優しい世界は排除や虐待を生まないためにも司法精神医学でも大切であることを述べました。

賢治と異質という学会テーマ自体が異質でしたが、異質の諸相とともに、異質に優しい賢治のまなざしが浮かび上がり、温泉場での開催で、温かい雰囲気でした。最後に、医師数が少ないなか、国立病院機構花巻病院 河上真人副院長、齊藤勇事務部長、山村卓心理士を中心に事務局が頑張ってもらい学会運営することができ、深謝します。

●シンポジウム1

異質と同質は、2018年に刑事責任能力論というご著書を出された新進気鋭の法律家竹川俊也先生をお招きして開催しました。竹川先生は、刑法学からみた異質と同質というタイトルで、裁判実務では行為を選択する過程が通常と異なり、合理性を欠いていることが問題となることを示しました。合理性とは、法的には、自分の振る舞いが他人や社会に与える影響を理解する能力です。八木は、瀧川裕英教授の応答責任論を引用し、責任の語源は応答であり、規範違反行為をした場合は、他者によってその行為の正当性を問われ、正当な理由は、第三者に了解可能で受容可能であることが要求されることを示しました。

●シンポジウム2

被害者に係る司法精神医学は、小西聖子理事を司会者として、初めて被害者の視点をとりあげました。小西理事は、被害者が一般に逃げることも抵抗もできないことを説明しないと、抵抗

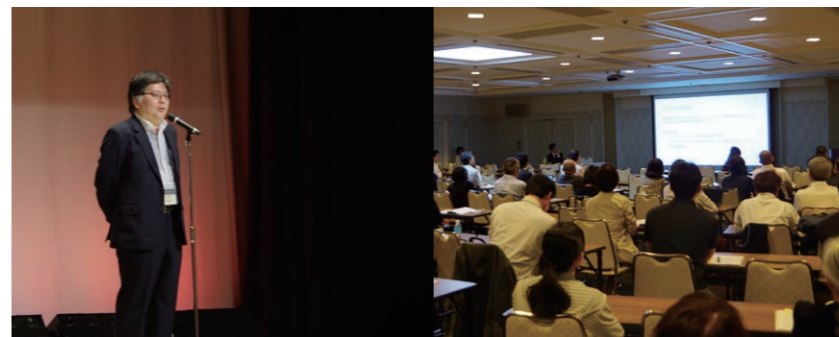


山折哲雄先生による特別講演

しなかったから合意したと誤解されることを強調し、被害者の受けた傷は、何十年も続くことがあり、パッチを貼るだけでは不十分であることを述べました。被害から加害への連鎖を止めるには、時間も手もかかりますが、子供に、虐待をおかしいと言える力を与えたい、そして子供のSOSを見逃さないようにできたらいいという実りある議論ができました。

●シンポジウム3

司法精神医療におけるモチベーションの多様性では、対話をベースとした司法精神医療のあり方や実践について取り扱いました。前半では北海道医療大学の向谷地生良さんによる当事者研究、筑波大学の斎藤環さんによるオープンダイアログ（ビデオメッセージ）、熊本大学の矢原隆行さんによるリフレクティングについてのお話をいただき、後半は演者の方に加えて医療観察法病棟で当事者研究を実践している下総精神医療センターおよび花巻病院のスタッフを交えて、事例の紹介や実践の課題などについて対話的にセッションを進行しました。座長、シンポジスト全員が会場前方に半円を描いて座り対話するというスタイルは新鮮であり、最後には会場からたくさんの方にその輪に交替で入っていただく形で活発な対話が繰り広げられました。従来の医療者が患者を導くという形ではなく、対等な立場の中での対話によって対象者をとりまく世界に新しい可能性を付け加えていくという新しい医療への期待が高まるシンポジウムとなりました。



✍ 河上 真人：花巻病院副院長

本 学会ではオープンダイアログや当事者研究などの対話を軸とした精神医療について、司法精神医療の分野でいかに取り入れていくかというテーマでのシンポジウムやワークショップを実施した。



シンポジウム3「司法精神医療におけるモチベーションの多様性」では、北海道医療大学の向谷地生良さんによる当事者研究、筑波大学の齋藤環さんによるオープンダイアログ(ビデオメッセージ)、熊本大学の矢原隆行さんによるリフレクティングについてのお話をいただき、後半は演者の方に加えて医療観察法病棟で当事者研究を実践している下総精神医療センターおよび花巻病院のスタッフを交えて、事例の紹介や実践の課題などについて対話的にセッションを進行した。座長、シンポジスト全員が会場前方に半円を描いて座り対話するというスタイルは新鮮であり、最後には会場からたくさんの方にその輪に交替で入っていただく形(フィッシュボール)で活発な対話が繰り広げられた。従来の「医療者が患者を導く」という形ではなく、「対等な立場の中での対話によって対象者をとりまく世界に新しい可能性を付け加えていく」という新しい医療への期待が高まるシンポジウムとなった。

同日午後には矢原隆行さんによるリフレクティングのワークショップが行われ、学会参加者に加えて地域の方とともに、リフレクティングを学ぶ機会を得た。リフレクティングはオープンダイアログでも中核的な方法として用いられるが、いかに生き生きとした対話を行うことができるのか、という視点から日々の対話実践を見直すこととなった。

当院ではオープンダイアログの実践を目指し、本年(2019年)10月にはオープンダイアログネットワークジャパン(ODNJP)主催の3日間ワークショップを開催予定としている。またオープンダイアログや当事者研究の分野の第一線で活躍される方々や同じ志を有する医療者などが集える場所を作っていきたいと考えている。

PROGRAM

第15回 日本司法精神科学学会大会 in 花巻
2019年6月7日(金)～8日(土)
花巻温泉 ホテル千秋閣

《大会テーマ》会長講演

『賢治と異質』

講演：八木 深

(独立行政法人国立病院機構花巻病院 院長)

●特別講演

『テクノボウになりたい』

講演：山折哲雄 先生

●シンポジウムⅠ

異質と同質

●シンポジウムⅡ

被害者に係る司法精神医学

●シンポジウムⅢ

司法精神医療におけるモチベーションの多様性



看護師によるハンドマッサージは多くの皆さんにご好評をいただきました

topics

01

看護の力で健康な社会を！ 看護の日を迎えて



✍ 丹藤由起子：副看護部長

看 護の日は21世紀の高齢化社会を支えていくために「ケアと看護の心」「助け合いの心」を知るきっかけとして平成2年に制定されました。

当院においても毎年、副看護師長が中心となり「看護の日」のイベントを開催しています。

今年は、5月22日(水)いわて生協コープ花巻アウルにてアロママッサージや健康相談を行いました。

当日は28名の市民の方が訪れ、心地よい香りの中で何気ない会話をしながら、リラックスされました。ほとんどの方から気持ちがよかったとの感想が聞かれ、「触れる、見る、話す」ことがお互いに優しい気持ちとなり、看護の心を伝えるきっかけとなったのではないかと思います。



topics
 02

花巻フォーラムを開催して

安藤 秀行：契約係長

第 26回花巻フォーラムが3月6日（水）に開催されました。院内外から105名と大勢の参加者がありました。今年度は、講演はなくポスター発表8題で一人ずつポスターの前で発表することになりました。多職種を交えたポスター発表は、多角的な視点で捉えることができ、とても有意義な発表となりました。発表後、質疑応答や貴重な意見も多数あり活発なセッションとなり会場内は熱気を感じるほど盛り上がりました。

特別講演は、筑波大学 医学医療系 齋藤環先生をお招きして「日常生活にオープンダイアログをいかに導入するか」をテーマにご講演を頂きました。オープンダイアログは、①対話の目的は「変えること」「治すこと」「(何かを) 決定すること」ではない。対話を続け、広げ、深めることを目指す。②「議論



ようこそ！花巻フォーラムへ
ポスター発表や特別講演など充実した内容で開催しました

「説得」「説明」は対話のさまたげにしかならないことを理解する。③クライアントの主観、すなわち彼が済んでいる世界をみんなで共有するイメージを大切にする。「正しさ」や「客観的事実」のことはいっ



参加いただき感謝します



たん忘れる。以上のことを心得て実践するように話されていました。解決することが目的ではなく、対話や傾聴する姿勢を大切にしていると実感しました。これらを実践することで患者さんは安心して話やすくなり、患者さんと医療者間の関係も円滑になると理解することが出来ました。

講演後、齋藤環先生もチームに加わり、治療チーム（医師・看護師・OT等）、とクライアントチーム（本人・家族・関係者）を病院職員がそれぞれの役割となってロールプレイを行いました。病院職員による迫真の演技が見られ、齋藤環先生から高評価を頂きました。また、ロールプレイを動画で撮影されていた参加者もおり自施設でも導入したいという熱意も感じられました。ロールプレイを見学して、一対一で患者さんに寄り添うことも重要ですが、多職種で



8題のポスター発表後は活発な意見交換が行われました

患者さんに寄り添い対話することで、より一層患者さんの思いを引き出すことができるようでした。今回の学びを多職種チームとして患者さんとの関わりに取り入れていきたいと思えます。

特別講演の一幕





上の段ほど高得点だよ!



狙うは1つ!お内裏様だっ!!



患者様がトーチを持ち、聖火に見立てたボンポンを次の人に繋いで最後のアンカーは聖火台に聖火を灯すリレー競技



看護師さんと一緒にタッチダウン!!!

スタートの合図で、目の前にぶら下がっているラグビーボールまで行き、ボールを1つキャッチ、3つある箱の前まで行き、好きどころにボールを入れタッチダウン、最後に箱の点数を開示し、その中のボールの数×点数が得点に

赤間 義輝：保育士

topics
03

わかば病棟の恒例イベント開催。

ひなまつり会でハプニング続出!?

3 月といえば、女の子の健やかな成長を祈る節句行事として古くから受け継がれてきた3月3日の「ひなまつり」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか?

ご自宅に雛人形を飾り、ちらし寿司やまぐりのお吸い物などを頂いたりする方や、全国各地では毎年、様々なひな祭りの展示やイベントが行われているほど、古くから人々に愛されてきたひな祭り。わかば病棟でも3月7日に「誕生会&ひなまつり会」が開催されました。

保育士がダンボール、ペットボトル、色画用紙等でひな壇や雛人形を作成し、ひな壇に並んでいる雛人形を目掛けてチーム対抗の「雛壇わなげ対決」を患者さんにいただきました。

ゲームの内容は、患者さんをAとBの2チームに分かれていただき、1人1回輪を投げ(お内裏様、お雛様に掛かったら5点、三人官女が3点、五人囃子が1点)チーム点数の合計を競ってもら



わかば病棟

ひなまつり会

形で行いました。ゲームが始まり、輪を上手に投げて点数をゲットする方、投げるのが難しく輪を雛人形に優しく掛けて点数をゲットする方などと、お互いに一步も譲らない状況の中、最後の最後でBチームが僅かにリードし勝利を収めました。

また輪を強く投げすぎて金の屏風を危うく壊してしまいそうになる方やお内裏様、お雛様を同時に輪に入れてあげようとする方など予想していなかった出来事に笑いが起こるなどと、楽しいひなまつり会開催する事が出来ました。



令和1回目の優勝は…!?

梅 雨の時期にも関わらず見事なまでの晴天のもと、わかば病棟3大イベントの1つ、運動会が6月23日に開催されました。

今年の運動会は新元号「令和」になって初めてということもあり、開会式から例年以上に気合が…!!そのような中で、1つ目の種目「東京オリンピックへ繋げ!」がスタートしました。上手に次の走者へと聖火を繋いでいき両チーム1歩も譲らず、最終走者へ…手に汗握る中、白組が僅差で先に聖火台に聖火を灯しゴールしました。

2種目は、「ラグビーワールドカップin花巻」。今年はなんとと言ってもラグビーワールドカップが日本で開催され、全国12会場の1つがなんと岩手県釜石市で行われるということで、一足先に競技に取り入れました。ボールを上手にキャッチし、続々と箱にタッチダウンを決めていきます。箱の点数が開示され、この競技は赤組が制しました。



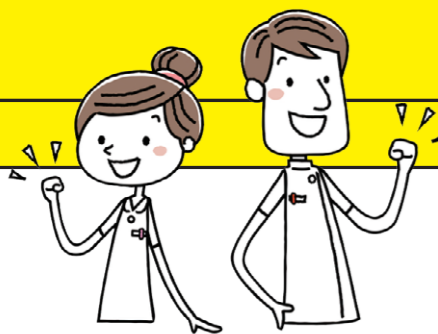
わかば病棟

大運動会

2競技の合計得点では、白組が1歩リードの状況で運動会も折り返しへ。ハーフタイムでは見所の1つでもある応援合戦が行われました。ご家族の方やボランティアの方々にも多大なるエールを頂き、会場のボルテージが最高潮まで達したところで最終競技「令和」記念紅白玉入れ合戦がスタート。果たして、白組は逃げ切れるのか、それとも赤組が逆転するのか、緊迫した状況の中、ボールはどんどん入っていきます。そしてホイッスルがなり、運命の結果発表へ。玉入れ合戦を制し、記念すべき令和元年の優勝を掴み取ったのは……白組!!!熱気、興奮が冷めやらぬまま幕を閉じました。

来年はオリンピックの盛り上がり負けたくない、運動会にしていきたいと思います!





今 回、新たな仲間になった方々を紹介します。不安と期待を持って日々業務に励んでいる事と思います。異動者、採用者を温かくご指導よろしくお願いします。

- ① 出身地 ② 趣味 ③ 抱負

副診療放射線技師長 **平成31年4月付 異動**

齋藤 浩二

① 青森県弘前市
② 温泉めぐり

③ 4月にあきた病院から赴任しました齋藤と申します。花巻病院は初めての施設であり、また精神科病院ということで戸惑う事も多いと思いますが、微力ながら病院に貢献していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

児童指導員 **平成31年4月付 異動**

境谷 環

① 青森県黒石市
② 食べ歩き

③ 青森病院から転勤してきました。青森病院では通園と小児科病棟を担当していました。初めての転勤で毎日慣れないことの連続ですが、少しでも早く慣れ、患者さんと楽しく過ごして行きたいと思っています。よろしくお願いします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

山口 佐弥佳

① 岩手県紫波町 ② 現在なし。子育てが落ち着いたら見つけたい。

③ 精神科は初めての分野で、対応や声かけ一つにしても慣れないため、奮闘している毎日です。今までの経験を生かして安心・安全な看護を提供したいと思っています。ご指導の程よろしくお願いします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

細川 慶脩

① 岩手県矢巾町 ② 柔道・ボディメイク・バイク・スイーツ作り

③ 血液内科、心臓血管外科を経験し、この度、精神科という新しい未知の分野を経験させていただくこととなりました。分からないことが多いですが患者さんの想いに寄り添える看護ができるよう頑張りたいと思います。

作業療法士長 **平成31年4月付 異動**

山上 幸生

① 岩手県紫波町
② キャンプ・ツーリング

③ 16年ぶりに戻ってきました。浦島太郎の気分で緊張の毎日ですが、小さくとも花巻病院が前進する為の歯車となり頑張ります。宜しくお願いします。

看護師長 **平成31年4月付 異動**

須藤 晶子

① 宮城県気仙沼市
② 運動・読書

③ 岩手病院から昇任して参りました。今までは内科、重症心身障がい児(者)病棟の経験はありますが、精神科での経験がないため少しでも早く花巻病院を知り、慣れることができるように努力したいと思っています。よろしくお願いします。

看護師 **平成31年4月付 異動**

阿部 奈津美

① 岩手県一関市
② 旅行・映画鑑賞

③ 前職の国立病院機構東埼玉病院では神経内科と内科で勤務しており、精神科で働くのは初めてになります。看護師を志した頃から精神科に興味があり、今回配属になり嬉しく思います。まだまだ緊張の毎日ですが頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

下川原 志保

① 茨城県水戸市
② 運動・おいしいお店探し

③ 4月から、わかば病棟で勤務しています。精神科の看護は初めてなので、毎日不安と緊張でいっぱいですが、少しでも早くスタッフの一員として働けるよう努力して行きたいと思っています。ご指導よろしくお願いします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

照井 若奈

① 岩手県北上市
② 旅行

③ 4月からかなん病棟に配属になりました。新しい環境で緊張と不安でいっぱいの日々を過ごしています。慣れないことや分からないことがたくさんありますが、先輩方にご指導をいただき精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

小山 直輝

① 岩手県一関市
② You Tube・読書・ゲーム

③ 4月1日付でさくら病棟に配属になりました。様々な患者様の精神症状に対し、いつものようにコミュニケーションを行い対応することがベストか先輩の姿を見て学んでいます。看護師として早く一人前になれるよう、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

嘉藤 百花

① 岩手県久慈市
② 土地探し

③ かなん病棟に配属になりました。先輩方に教わった知識や技術を確かなものにしていき、患者さんやその家族の心に寄り添い、その人らしい生活ができる看護を目指し、頑張りたいと思います。

事務助手 **平成31年4月付 採用**

多田 道代

① 神奈川県川崎市 ② 今はありません。昔はテニス・ボウリング・カラオケでした。

③ この度、採用いただきましてありがとうございます。とても感謝しております。岩手に移り住んで20年が経ちます。毎年白鳥の飛来が楽しみで、上空を飛ぶ姿を見るたびに感動しています。皆様のお役に立てる様にしっかりと勤めさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

事務助手 **令和元年6月付 採用**

佐々木 豊子

① 岩手県花巻市
② 読書

③ 令和元年6月20日に非常勤職員事務助手として企画課に配属になりました。四季折々に様々な風景を見せる場所への出勤、特に桜の時期は朝から心躍るように嬉しいです。(*^▽^*)☆・・☆・・☆ 皆様には、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

事務助手 **平成31年3月付 採用**

赤坂 光

① 秋田県美郷町
② 音楽鑑賞

③ 3月からお世話になっています。最近では、病院の周りの桜がともきれいで、通勤の時や窓の外に見える風景に元気な気持ちになります。これから頑張りますので、よろしくお願いいたします。

看護師 **平成31年4月付 採用**

梅木 渉

① 岩手県紫波町 ② オンラインゲーム・You Tubeで料理動画を見る

③ この度、みずき病棟に配属になりました梅木渉です。出身校は、盛岡看護医療大学で、さくら病棟の小山さんと一緒にの学校です。みずき病棟では、患者さんとの関係の築き方や対応を先輩から学んでいければと思っています。よろしくお願いします！

看護師 **平成31年4月付 採用**

齋藤 叶

① 岩手県盛岡市
② 運動・散歩・ライブ

③ 学生の頃から精神科で働きたいと考えており、今花巻病院で働くことを嬉しく思っています。まだまだ看護師として未熟な部分ばかりですが、1日1日の経験と出会いを大切に学びを深められるよう精一杯頑張ります。ご指導よろしくお願いします。

看護助手 **平成31年4月付 採用**

藤澤 一枝

① 岩手県宮古市
② スキー・カラオケ

③ スポーツ大好き人間です。走る事も好きで、体力には自信がありますが、年齢には勝てない様です。でもじぶんなりに努力しますので、ご指導お願いいたします。

事務助手 **平成30年12月付 採用**

小野 寺 絢香

① 岩手県花巻市
② 走ること

③ 昨年12月からお仕事させていただいています。しっかり一つずつ仕事をこなし、少しでも病院に貢献できるように頑張ります。





精神科専門療法のご案内

01 精神科デイケアについて

当院では、精神疾患の受療中で、比較的通院・服薬ができて
いる方や、主治医がデイケア利用の必要性を認めている方を対象に
精神科デイケアを開設しています。開所日は平日の9時30分から15時30分まで
の1日利用制となっており、専属の心理療法士、看護師を配置しています。

デイケアでは、社会参加コースとして、主として集団活動を通じて集中力を向上
させ、他人との適切な距離の取り方や疾病との付き合い方を学ぶ各種プログラム
を実施しています。また、就労支援コースとして「仕事ミーティング」を実施して
おり、近隣の作業所やハローワークに赴き、復職への準備を行うなどのリワークプロ
グラムも実施しています。



02 精神科作業療法について

当院では、作業療法士を複数名配置しており、精神疾患等を
有する方の日常生活或いは諸活動をサポートすることで回復させ
る治療を行っています。「作業療法（OT）」は多岐にわたります。日常生活に特化
したものから、対人コミュニケーション、社会復帰、対象者に合わせて種々のプ
ログラムを実践します。主なプログラム内容として、手工芸、ゲーム、歌（カラオ
ケ）、スポーツ、病棟OTでは調理・外出訓練を実施しています。生活技能訓練
（sst）を使ったコミュニケーション訓練も実施しています。



03 精神科訪問看護について

当院では、専門スタッフ（看護師・精神保健福祉士）が精神
疾患をお持ちの方や、心のケアが必要とされている方々を対象に、
直接ご自宅や入所施設にお伺いし、生活上の相談をお受けしたり、助言・援助
などのトータルサポートを包括的に実施しています。病気の不安や、生活の不安、
人間関係の不安や、ひいては就労の不安など、精神疾患をお持ちの方の苦悩に
対して専門スタッフがきめ細かなケアやサービスを通して包括的に支援します。



外来診療について

- 外来受診は、予約制となります。
- 新患予約受付については、地域支援室（内線520）までご連絡願います。
- [受付期間] 平日（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）9:00～17:00
- 予約後の日時変更については、平日15:00～16:00にご連絡願います。

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。体調管理は大丈夫でしょうか？屋外ではもちろんの
こと、室内にいても水分補給を忘れずに、熱中症には充分気を付けてください。
まだ夏は始まったばかりですが、涼しい季節が恋しいですね…
今回の号では至らない点もあったと思いますが、最後までお読みいただきありがとござ
いました。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。 【広報委員・N】

